



花壇に花を植えました (7/4)

今年度も、7月4日(月)の6校時に、全校で学校花壇に花を植えました。

当初は、6月27日(月)に植える予定でしたが、あいにくの雨で30日(木)に延期、30日もまた雨で、再延期になっていました。

この日も朝から雨が降る不安定なお天気でしたが、願いが届いたのか、午後は雨もなくいいお天気になりました。

1, 2年生は昨年種を取った黄花コスモスを、3年生は、紫サルビアやメランポジウム、ペゴニアを植えました。

この日は、地域ボランティアの方4名も一緒に作業していただきました。暑い中、ありがとうございました。

秋には美しく咲きそろった花々をご覧いただけるものと思います。どうぞ、お楽しみに。



※ 東由利中のホームページにドローン動画による花植作業の様子が載っております。スマホ等でも見られますので、どうぞご覧ください。

由利出張所長訪問がありました

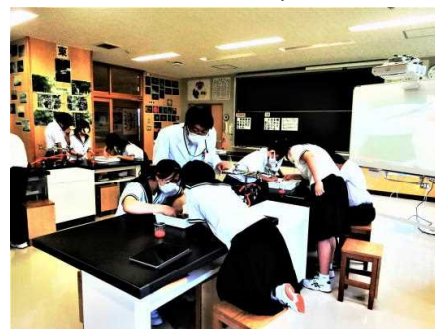
7月6日(水)の5校時に、中央教育事務所由利出張所長の沓澤徹様と副主幹沼倉友和様による学校訪問がありました。

学校経営についての説明をした後、各学年の授業の様子を参観いただきました。1年生では、タブレットを活用したイカの解剖の授業を行っていました。以前は、解剖後のスケッチが大変だったようですが、タブレットを使って写真を撮ると一瞬で記録ができてしまいます。生き生きと解剖の学習に取り組む姿が印象的でした。

2年生、3年生もそれぞれ保健や自立活動、外国語の授業に真剣に取り組んでいました。

授業参観後、学校経営と授業に関する指導・助言をいただきました。今後の学校経営や授業に生かし、よりよい学校となるようにしていきたいと思ひます。

お忙しい中ご来校いただきありがとうございました。



1年生「理科」の授業の様子

教科等訪問 頑張りました (7/7)

前日の所長訪問に続いて、7/7（木）に教科等訪問があり、中央教育事務所の津島穰指導主事と中央教育事務所由利出張所の木内衛指導主事に授業を見ていただき、ご指導をいただきました。

今回は、1年生の社会科と2年生の道徳科を研究授業として見ていただいたほか、各学年の一般授業の様子も見ていただきました。

【1年 社会科】 「世界の人々の生活と環境」

熱帯地域の自然環境の特色と、そこで暮らす人々の生活との関連について考える授業でした。

赤道付近で伝統的な生活を送っている「ダニ族」を題材にして、1枚の写真からどのような暮らしをしているのかについてみんなで考えました。

タブレットの写真を拡大して見たり、地図帳で場所を確認したりしながら、人々の暮らしと自然環境のつながりについて考え、気づきを共有して学びを深めました。

地図帳やタブレットを自在に使いこなして学ぶ姿に参観した先生方も感心していました。



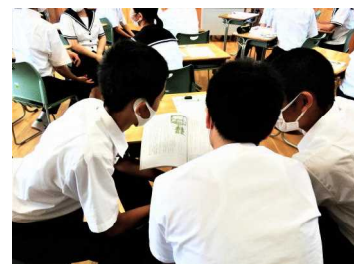
【2年 道徳科】 「働くことの意義とは」

札幌での開業を夢見る若い医師道下俊一が、北海道最果ての地、霧多布での1年間の勤務を命ぜられ、過酷な環境の中で懸命に働き、村人との心の交流が生まれる。

しかし、やがて1年の期限が過ぎ、札幌に帰ることになる道下医師に、村人は、自分たちのために、残ってくれるよう懇願する。

札幌に戻って自分の夢を叶えるのか、霧多布に残って村人と共に生きていくのか、道下医師の葛藤や心情の変化に焦点をあてながら、「自分だったらどうするか」を話し合い、働くことの本当の喜びやそれを通して得られる生きがいについて考えました。

一人一人が真剣に自分事として考え、話し合う姿に感動しました。



【一般授業】

1A国語、2A外国語、2B数学、3A理科を見ていただきました。困っているときに助け合ったり、協働で学んだり、気づきや興味・関心を大切にした授業が見られるというお話がありました。今後も、共に高まる授業を続けて頑張りたいと思います。